

JA相馬村納涼感謝祭開催

～SINCE1964 感謝を伝えよう～



地域一体となってステージパフォーマンスを彩る

8月3日、5年ぶりに「JA相馬村納涼感謝祭2019」が開催された。サブタイトルにもあるように1964年からJA相馬村は地域の方々に支えられているが、改めて地域住民の方にJAは近い存在であるという事を感じてもらう為に今回開催を決めた。

開会の挨拶では大場勉専務理事が「組合員や地域の方には日頃JAをご利用頂き本当に感謝しています。今日は多くのアトラクションを用意しているので、目一杯楽しんで日頃の農作業などの疲れをリフレッシュして下さい」と訪れた方に感謝の意を述べた。

メインステージ脇には相馬ねぶた愛好会の本ねぶたと前ねぶたが飾られ、地域が一体となり納涼祭を夏色に染め、訪れた人は日中に見るねぶたを楽しんでいた。

また、会場にはビールやファストフードの出店や、射的などの縁日、豪華賞品盛り沢山の抽選会、五つのステージパフォーマンスが用意され、来場者が楽しむ様子が多く見られた。



抽選受付用紙に願いを込めて記入する参加者



大型ねぶたがステージに華を飾る

ビアガーデン コーナー

会場内で一際盛り上がりを見せたビアガーデンコーナーでは、ビールとホタテやサザエ等を堪能し楽しむ方が多く見られ、地域の方と会話を弾ませリフレッシュしていた。他にもアイスやかき氷等もあり子供達も多く足を運び涼んでいた。



真夏日には冷たいジュースがピッタリ



幅広い年齢層から大人気のかき氷



新鮮なホタテをお客さんの目の前で焼く

縁日コーナー

子供達で賑わった縁日コーナーはストラックアウト、射的、絵描きせんべいや人形すくい、千本引きで楽しんでいた。

男の子達は射的、女の子達は絵描きせんべいなどが人気で大盛況であった。親子で足を運んだ方たちはその遊びのコツを教えてもらいながら楽しんでいた。



欲しい景品に狙いを定めて集中



欲しいキャラクターをすくうぞ！



自分だけのオリジナルせんべい作りに夢中

リレー抽選会55



納涼祭の中盤にはリレー抽選会55が開催され、多くの来場者が参加した。55周年にちなみ景品は55個用意された。県産品セットや洗剤セット、スタンド3000円券、直売所1000円券、そして何より来場者の目を引き付けたのは一等賞の40型4k液晶テレビであった。

このリレー抽選会は当選者が次の当選者を抽選するというシステムでリレー方式に行われ、抽選箱を持ったJA職員ランナーが会場内を走りまわった。

この納涼祭の司会を務めたアツプルウェーブパーソナリティの増田由美子さんは、大場専務と景品紹介を行い、当選者との会話も交え、会場を盛り上げていた。子供達から年配の方まで多くの方が当選し、喜びと驚きの姿を同時に見ることが出来た。

最後に一等賞の抽選を大場専務が行い、見事40型テレビが当たった来場者は「まさか自分が当たると思わなかったが当選出来てとてもうれしい」と引き当てた大場専務に感謝を述べていた。

当選者スマイル集



ステージ パフォーマンス

5種類のステージパフォーマンスが納涼祭を一気に熱くさせた。
相馬地区で練習を行っているダンスチーム「Little SWEETS」をはじめ、佐藤ぶん太さんと和太鼓演奏者の大沢しのぶさんのコラボパフォーマンスや弘前中央高校の書道部による書道パフォーマンス、東北ナンバーワンの大道芸人アットさん、会場が最高潮に盛り上がったのは高瀬まみ歌謡ショーで、来場した方々は高瀬まみワールドに引き込まれていた。



坂本九の「上を向て歩こう」の曲に合わせてパフォーマンス



曲の歌詞と納涼祭テーマの「感謝」が書かれた



練習の成果を精一杯披露していた「Little SWEETS」



東北No1の技で見る人を魅了していた



世界的和太鼓演奏者と佐藤ぶん太さんの笛が夏を彩る



高瀬まみさんの近くで聞く歌声に圧倒される



ショーの最後に歌に合わせて来場者で盆踊り